



三条北ロータリークラブ週報

まことの幸福は人助けから

Real Happiness is Helping Others

国際ロータリー会長 クリフォード L. ダクターマン 第2560地区ガバナー 栗山 清

例会日

1993. 2. 2

累計 No-303

当年 No-28

会長／高橋彰雄

幹事／村山誠一

SAA／佐藤義英

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：卓話 「地域の動向」 吉川吉彦会員

出席：本日の出席 56名中37名

先週の出席率 56名中49名 87.50%（前年同期84.91%）

1月の出席状況 会員数56名 例会数3回 平均出席率91.67%

（前年同月92.46%）

先週のメイクアップ： 2月3日 三条南RCへ 梨本清一さん 羽賀一夫さん 堀川正幸さん
村山誠一さん

4日 加茂RCへ 加藤実さん

5・6日 親睦旅行（伊豆）へ 江口 悟さん 羽賀一夫さん

樋口金占さん 本間茂男さん 堀川正幸さん 今井克義さん

吉川吉彦さん 坂本勝司さん 佐藤義英さん

8日 三条南RCへ 中条耕二さん

ビジター： 三条RCより 丸山行彦さん 内山辰策さん 藤田紘一さん 近藤雄介さん
吉井俊介さん

三条南RCより 菊池賢一さん 西村吾一さん 坂本洋司さん

会長挨拶： 高橋彰雄

今日も三条クラブ、三条南クラブより大勢のお客様有難うございました。ついこの間の4月の陽気が一転して零下の不順の気候となって居り風邪も猛威を振るっています。健康には気を付けたいものです。

昨日、NHKのテレビ番組で“ペンギンの子育て”を放映して居りました。皇帝ペンギンの厳寒の中での子育てを見て、動物の本能、親子の絆を感激して飲て居りました。産卵後の卵を30秒放置すると凍ってしまい卵よりかえったヒナが2分30秒放置されると凍死してしまうという、苛酷な気象条件の中で、1,000頭ものペンギンが体を寄せ合い身を守って居り、外側と内側のペンギンが一

るさと塾を開校するので村内の若者を集めにかかったものです。その際に応募してしまいました。初めて塾に行ってみましたらその雰囲気よかったものですから、そのままズルズルと引き込まれ、塾長にさせられました。普通塾という名からして、先生がおり生徒がいて勉学を行います、地域の塾はそうではなくて、地域の若者の意見を聞き出して、地域の問題点を研究してみました。ふるさと創生の中身は、ロータリーの理念もにたようなことを感じます。私たちの村や町のその住んでいる地域をよりよい住みやすい地域を作り出すことへの方向としましては、同じ考え方のようにも思えます。事業を通して活性化をしてくれればとこれ幸いというところです。

ここで下田村について少しご紹介します。海拔18～1538mの高低差のある所で面積は三条市は75.83km²、下田村は311km²で約四倍の面積で風光銘美なところです。特に八十里越え峠はすばらしい景観が楽しめるところです。こんな近くにこんなきれいな所があったのかとおどろきをもつに違いありません。距離からして、朝九時スタートして夕方四時頃には福島県側へ抜けるわけです。是非一度ご案内下さい。下田村の人口は現在1万2500人、年々人口減が激しくなっていて、一昨年までは年40人減でしたが、昨年は70人減と非常に過疎化が進んでおります。三条市の工業生産額は2500億円、下田村は200億円、農業生産額は20億円、工業生産額の10分の1の農業村です。因みに、面積の割合からして議員数が多い村です。三条市は30名、下田村は24名です。職員数で三条市は937名、下田村は197名で人口の割合で三条市1.09、下田村は1.57%で職員が多過ぎる村です。参考までに聞いた所では、三条市の起債は平成三年度で182億4119万、下田村は37億7029万、一人当たり三条市は21万7000円、下田村は29万9千円、定期預金（基金）三条市30億1660万円、下田村は28億8462万、一人当たり三条市3万4800円、下田村22万9000円、諸橋記念館は11億8000千万円建設費がかかっております。村全体の予算ですが今日お配りした資料の予算なその自治体の損益計算書です。その自治体の姿がおわかりになると思います。44億6000万円の村税収入は7億1400万円で自主財源としては少ない自治体です。他の70%以上は国や県に対する依存財源でまかなわれているところです。自主財源が少ないものですから中央省庁への陳状を多く行い予算をいただけてくる村長は中央へ行けば顔役で三条市長も舌を巻く程です。村で取れた「さつき芋」を手土産にされているそうです。美しい農村づくりについて、何でも思いついたルーツがたくさんありまして五十嵐神社は全国の五十嵐さんのルーツです。弥彦神社は伊や彦様と言われ発祥は下田村とのことでもあります。下田村は住むにも住みやすい場所ですし、土地も安いので皆様ぜひ村をじっくり観て下さい。

2月16日例会： 外部卓話 三条職安所長様

2月23日例会： 会員卓話 （世界理解と平和の日）

定のルールの中で本能的に自然に入れ替って寒さをしのいでいる姿をみて、今の厳しい経済環境の中で会社の中で、地域の中で国の中で世界の中でお互いに助け合って生きてゆければなあと思って居ります。

今日の卓話の吉川さんよろしくをお願いします。

幹事報告： 村山幹事

◇ RI日本支局より第84回メルボルン国際大会予告ビデオ「グッダイ、ロータリアン」入手希望の案内が来ております。

◇ 第2560地区ガバナー及びオンツ・メルボルン委員長よりメルボルン国際大会参加日程変更についての案内が来ております。

1993年5月19日（水）～5月26日（水）の8日間

◇ 新田RC創立10周年記念式典のご案内

日時 4月18日（日）

会場 新田町社会体育館

◇ 前橋北RCより創立10周年記念誌の恵送がありました。

◇ 新潟県国際交流協会より外国人モニター及び国際交流ボランティアの募集の案内が来ております。

◇(株)ワールド出版よりエイズキャンペーン実施の際の小冊子、講演等ご利用頂きたいという案内が来ております。

ニコニコボックス：

吉井俊介君 （三条RC）中条さんにさそわれて良い席に着かせていただきました。

中條耕二君 ビジターの方を強引に席をたたせて誠にすみません。おわび。

佐藤義英君 富士山をながめながらのゴルフ最高でした。スコアは聞かないで下さい!!

ゴルフ同好会一同 2月5・6日親睦旅行のゴルフコンペでスリーパットのペナルティーとして集まりました。

本間茂男君 中伊豆グリーンクラブでの北ロータリーのゴルフコンペでひさしぶりの優勝。

堀川正幸君 5、6日と楽しいゴルフ遠征に行ってきた。春一番にふかれて……。ゴルフボールとはこんなにも曲がるものかとあきれ顔、あきらめ顔の一日でした。

佐藤啓策君 4日の日の経営セミナーには会員の方から多勢出席して頂きましてありがとうございました。

村山誠一君 先週欠席して申し訳ありませんでした。長谷川博一さん、代理ありがとうございました。

今井克義君 男性ホルモンにあふれた吉川さんの顔の後に大和撫子の恥じらいをもった奥さんがいらっしまったことを伊豆旅行でわかりました。卓話期待しています。

落合益夫君 吉川さん卓話ご苦労さまです。日程が二転、三転して、ご迷惑をおかけしました。

石川友意君 吉川さんの卓話に期待して!!

山崎勲君

石月雅司君 BOXに協力して、

高橋彰雄君

本間建雄美君 吉川さん卓話楽しみに聞かせて戴きます。

卓話： 「地域の動向」 吉川吉彦さん



久々の卓話なものですので非常に緊張しております。何弁が出るかわかりませんが、30分おつき合いをお願いします。

最近「やらせ」という言葉がやたらと耳に入ります。NHKで問題になっておりますが、物言考えてみますと、このやらせが多いのではないかと思います。このやらせという問題についてくわしくいいますとまた、おかしい状態になりますのでいいかげんなどにしておきますけれども、最近の私の感じていることを今日はのべさせていたきたいと思います。少しでもご理解をいただけたらと思ひまして身近

かな話題をお話ししたいと思います。

先程の問題の中で、まが家の女房が私に対して「やらせ」をいたしました。同じやらせでも、ソフトにやるやり方もあるのですけれども、後で強烈なパンチで帰ってくる。そういったやらせもあるわけだ。それは何かと言いますと、今から2年前に村長が提唱してふるさと創生資金を使い、現在問題となっております竹下首相の時代に、ふるさと創生基金ということで、どんなに小さなミニ自治体でも1億円を3年間にもわたって差し上げるから、目的は選ばなくてもよい、何にでも使っていていいという資金で、地方にバラまいたわけです。日本全国で一番小さい自治体といえますと二百数十名の自治体がある訳ですが、この小さな自治体では降って湧いたようなお金がころがり込んだわけですが、当地三条市に於ても当然同じ資金が入っている訳です。これも竹下さんの一つの「やらせ」かと思ひます。どうしてもこの資金を3年間にわたってふるさと活性化に使ってほしいとのことで、ある地方では金の延棒を買ったり、温泉を掘ったりさまざまな事業が行われました。そんな中で隣の下田村では、何に使ったらよいかと村民にアンケートを取った訳ですが、ここでも村長の「やらせ」が出てきて、名誉村民の諸橋轍次博士の記念館を作りたいという話がありまして、どういう発想から出たのかこのふるさと創生の資金を堂々と使える方法としてアンケートを取り「やらせ」しました。私にとっては地方自治体にはそれ程感心はなかったのですが、先程の女房のやらせというとはふるさと創生事業に関連して一部の資金を使い、地域の活性化を計るために、若い者を育てようとした事業を組んだ訳です。若者よ集合しなさいという募集を行い役場内で、ふ